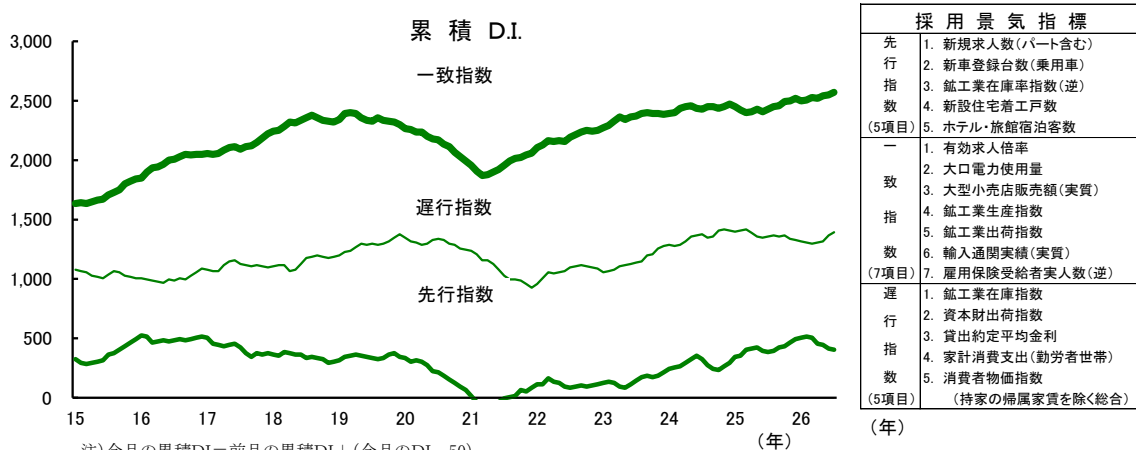


1. 景気動向指数

平成 26 年 7 月の景気動向一致指数は、有効求人倍率、大口電力使用量、大型小売店販売額（実質）、鉱工業出荷指数、輸入通関実績（実質）の 5 項目がプラスとなり、全体では 71.4%と 3 カ月連続で 50%を上回った（7 項目のうちプラス 5、マイナス 2）。

先行指数は、鉱工業在庫率指数（逆）、新設住宅着工指数の 2 項目がプラスとなったものの、全体では 40.0%と 5 カ月連続で 50%を下回った（5 項目のうちプラス 2、マイナス 3）。

遅行指数は、鉱工業在庫指数、家計消費支出（勤労者世帯）、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）の 3 項目がプラスとなり、全体では 75.0%と 4 カ月連続で 50%を上回った（5 項目のうちプラス 3、マイナス 1）。



注) 今月の累積DI=前月の累積DI+(今月のDI-50)

一致指数には1,000、遅行指数には600、先行指数には500をそれぞれ加算してある。

資料)宮崎県県民政策部統計調査課

景気動向指数：景気に敏感な経済指標を複数取り上げ、それぞれの値を 3 カ月前の値と比較して増加したものの割合を出したものである。景気の現状を表す一致指数と、一致指数に数カ月先行して動き、景気の先行きを表す先行指数、数カ月遅れて動く遅行指数の 3 つがある。一致指数が数カ月連続して 50%を上回った場合、景気が上昇局面にあることを示す。

景気動向指数の算出方法

景気動向指数 = (プラス項目数 + 横ばい項目数 × 0.5) ÷ (プラス項目数 + 横ばい項目数 + マイナス項目数) × 100 (%)

2. 鉱工業生産

7 月の鉱工業生産指数は、96.7 で前年同月比 1.5% 増と 13 カ月連続で前年を上回った。

主要業種別にみると、化学（前年同月比 7.8% 減）、繊維（同 3.2% 減）は前年を下回ったものの、電子部品・デバイス（同 9.9% 増）、食料品（同 12.5% 増）は前年を上回った。

3. 建設関連

① 公共工事

9 月の公共工事請負高は、164 億 7,600 万円で前年同月比 21.7% 減と 2 カ月連続で前年を下回った。

発注者別にみると、国が同 26.9% 減、県が同 33.7% 増、市町村が同 1.0% 増、その他（独立行政法人等）が同 94.7% 減となった。

② 着工建築物

8 月の着工建築物は、棟数 511 棟で前年同月比 20.0% 減、床面積は 10 万 8,176 ㎡で同 14.4% 減となった。

内訳をみると、居住用は棟数同 16.1% 減、床面積同 12.5% 減となり、非居住用は棟数同 30.8% 減、床面積同 16.4% 減となった。

非居住用の床面積を用途別にみると、鉱工業用同 467.9% 増、商業用同 63.3% 減、サービス業用同 12.0% 減となった。

③ 住宅着工

8月の新設住宅着工戸数は、619戸で前年同月比12.2%減と6カ月連続で前年を下回った。

利用関係別にみると、持家は同25.6%減、貸家は同22.7%減、分譲は同231.4%増（マンションは前年0戸→本年59戸、一戸建てが同35戸→57戸）となった。

4. 個人消費関連

① 大型小売店販売動向

8月の大型小売店販売額は、73億3,700万円で前年同月比3.1%増と6カ月ぶりに前年を上回った。

商品別では、衣料品は14億8,200万円で同0.9%減、飲食料品は33億9,000万円で同2.6%増、その他計は24億6,500万円で同6.4%増となった。

② 乗用車新車販売動向

9月の乗用車新車登録台数は、1,882台で前年同月比7.7%減と2カ月ぶりに前年を下回った。

車種別にみると、普通車は904台で同1.8%増、小型車は978台で同15.0%減となった。

③ ゴルフ場入場者数

9月のゴルフ場入場者数は、5万9,038人で前年同月比3.4%減と2カ月ぶりに前年を下回った。

内訳をみると、メンバーが1万1,300人で同7.4%減、ビジターが4万7,738人で同2.5%減となった。

なお、ゴルフ場18施設のうち6施設が前年を上回った。

5. 空港乗降客数

8月の宮崎空港乗降客数は、27万5,323人で前年同月比3.0%減と2カ月連続で前年を下回った。

乗客数は13万9,511人（前年14万3,263人）と減少し、降客数も13万5,812人（前年14万628人）と減少した。

6. 消費者物価指数

8月の宮崎市の消費者物価指数は、103.9で前年同月比3.5%上昇した。

これを費目別にみると、食料（前年同月比5.9%増）、光熱・水道（同5.5%増）、被服及び履物（同5.1%増）など10費目の全てが上昇した。

7. 企業倒産

9月の企業倒産件数（負債額1,000万円以上）は、2件で前年同月比100.0%増と3カ月ぶりに前年を上回り、負債総額は14億4,000万円で同2,115.4%増と2カ月連続で前年を上回った。

業種別では、卸売業1件、情報通信業1件となっている。

8. 雇用情勢

8月の有効求人倍率は、0.94倍で前月から0.01^{ポイント}改善した。

新規求人数は、7,766人で前年同月比8.1%増となった。

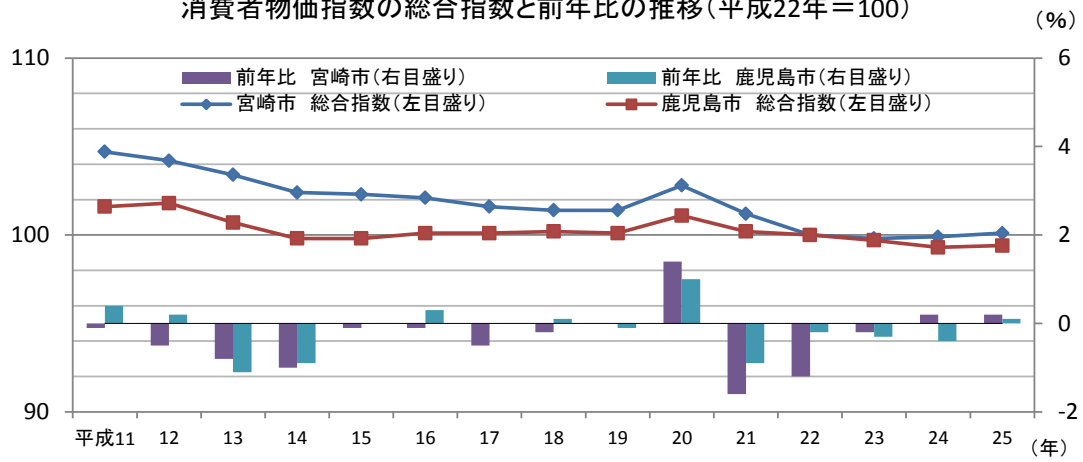
公務、その他は同74.5%増、複合サービス事業は同60.2%増、サービス業（他に分類されないもの）は同38.7%増など10産業が増加となった一方で、金融業、保険業は同42.6%減、電気・ガス・熱供給・水道業は同33.3%減など8産業が減少した。

雇用保険受給者数は、5,952人で同8.0%減と27カ月連続で減少した。

〈今月のトピックス〉～ 宮崎市の消費者物価指数

宮崎市の平成 25 年平均の消費者物価指数は、平成 22 年を 100 とした総合指数で 100.1 となり、前年比 0.2% の上昇となった。平成 25 年は、原油価格などの値上がりによって電気代などの光熱・水道が上昇したほか、ガソリンを含む自動車等関係費などの交通・通信が上昇したことなどにより、総合指数は上昇した。

消費者物価指数の総合指数と前年比の推移(平成22年=100)



資料) 宮崎県、鹿児島県